

## 史跡下寺尾官衙遺跡群および下寺尾西方遺跡確認調査について

### 1 基礎情報（第1図）

- (1) 文化財の種類：国指定史跡
- (2) 名称：下寺尾官衙遺跡群、下寺尾西方遺跡
- (3) 所在：茅ヶ崎市下寺尾549番2ほか

### 2 令和6年度史跡確認調査案

#### (1) 調査予定地（第2図）

下寺尾字西方505番2、506番2、507番1、508番1

#### (2) 調査予定面積

約670㎡の敷地のうち、約160㎡

#### (3) 調査の主な目的

- ・弥生時代環濠集落関連遺構・遺物の確認
- ・台地西側の官衙関連遺構・遺物の確認
- ・官衙直前（古墳時代後期）、直後（平安～中世）の遺構・遺物の確認
- ・他時代（縄文時代、近世、近現代）の遺跡状況確認

### 3 調査期間

令和6年11月21日（木）～3月14日（金）（埋め戻し・撤収を含む）

### 4 調査体制案

調査主体 茅ヶ崎市教育委員会

調査協力 神奈川県教育委員会

調査支援 株式会社カナコー

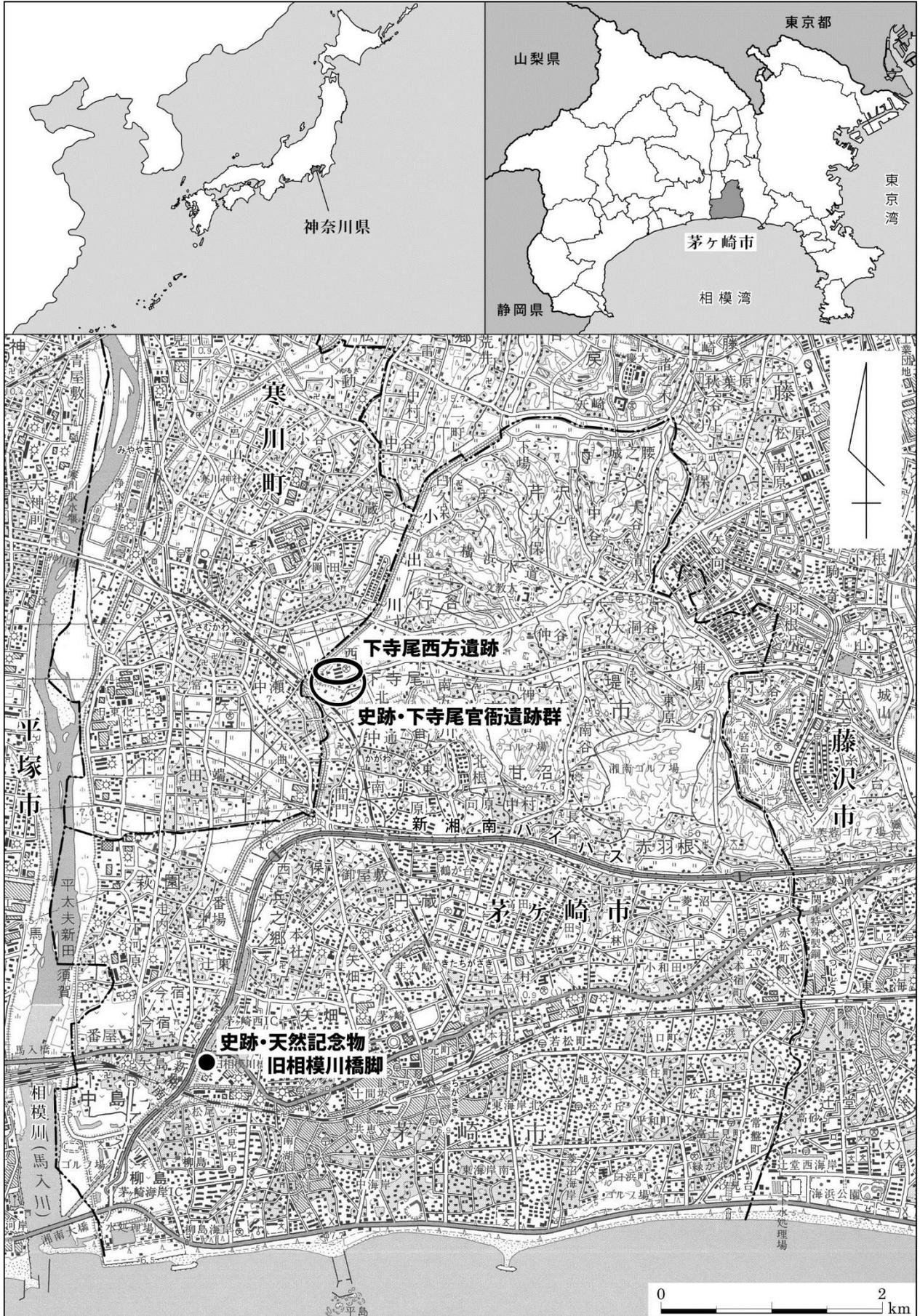
調査指導 茅ヶ崎市文化財保護審議会 下寺尾遺跡群等保存・活用部会  
文化庁

### 5 公開活用の方法

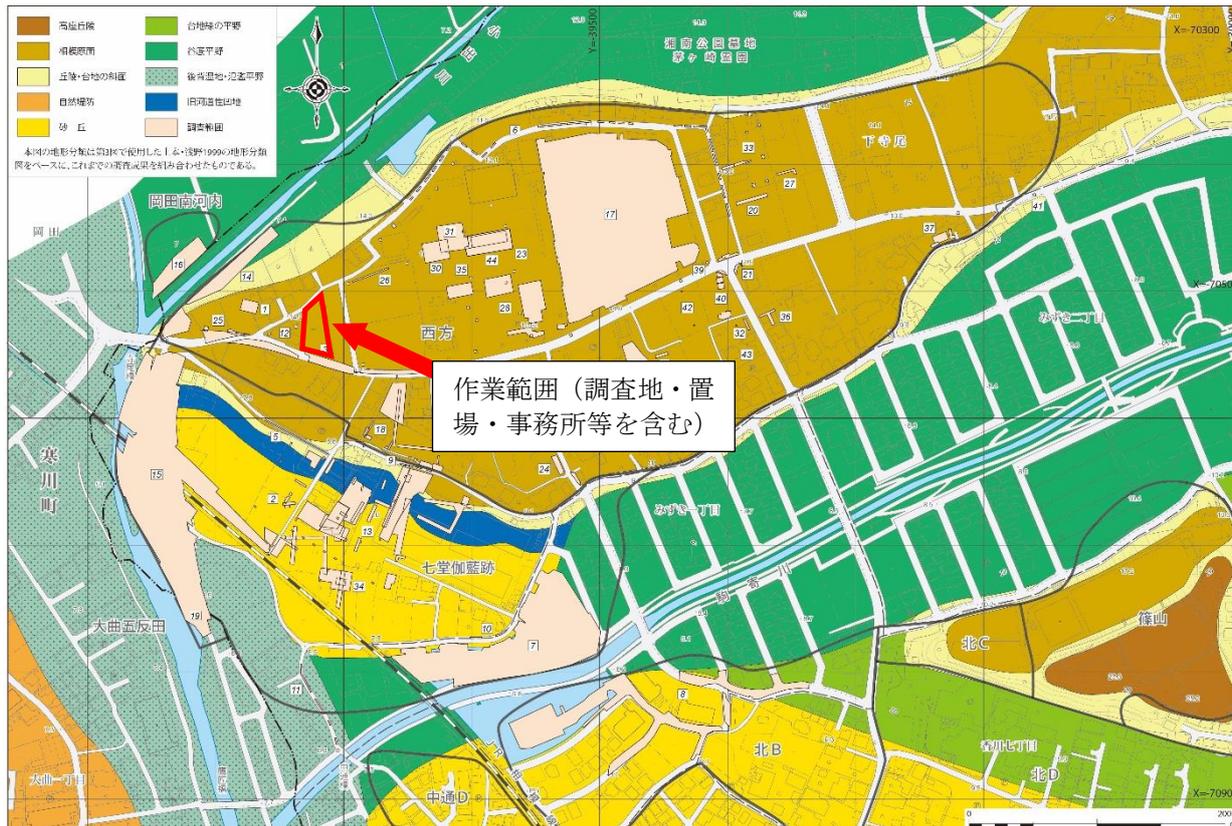
- ・令和7年1月25日（土）に現地見学会を実施する方向で調整中

### 6 調査の方法

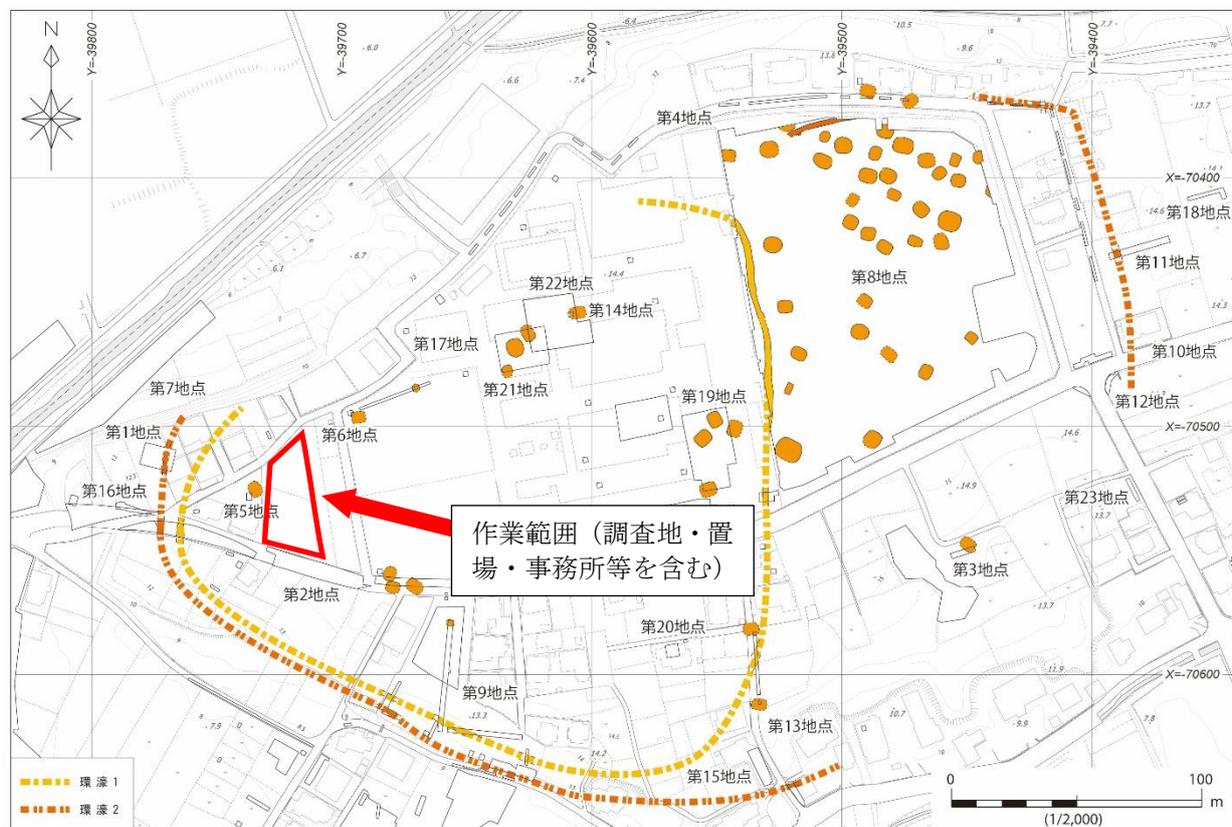
- ・客土まで機械掘削し、その下は人力掘削
- ・近世から順に遺構確認し、近世までは記録保存（Ⅰ－1、－2層）
- ・古代面で検出状況を調査・検討（Ⅱ層中）
- ・必要最小限の範囲について弥生面を調査・検討



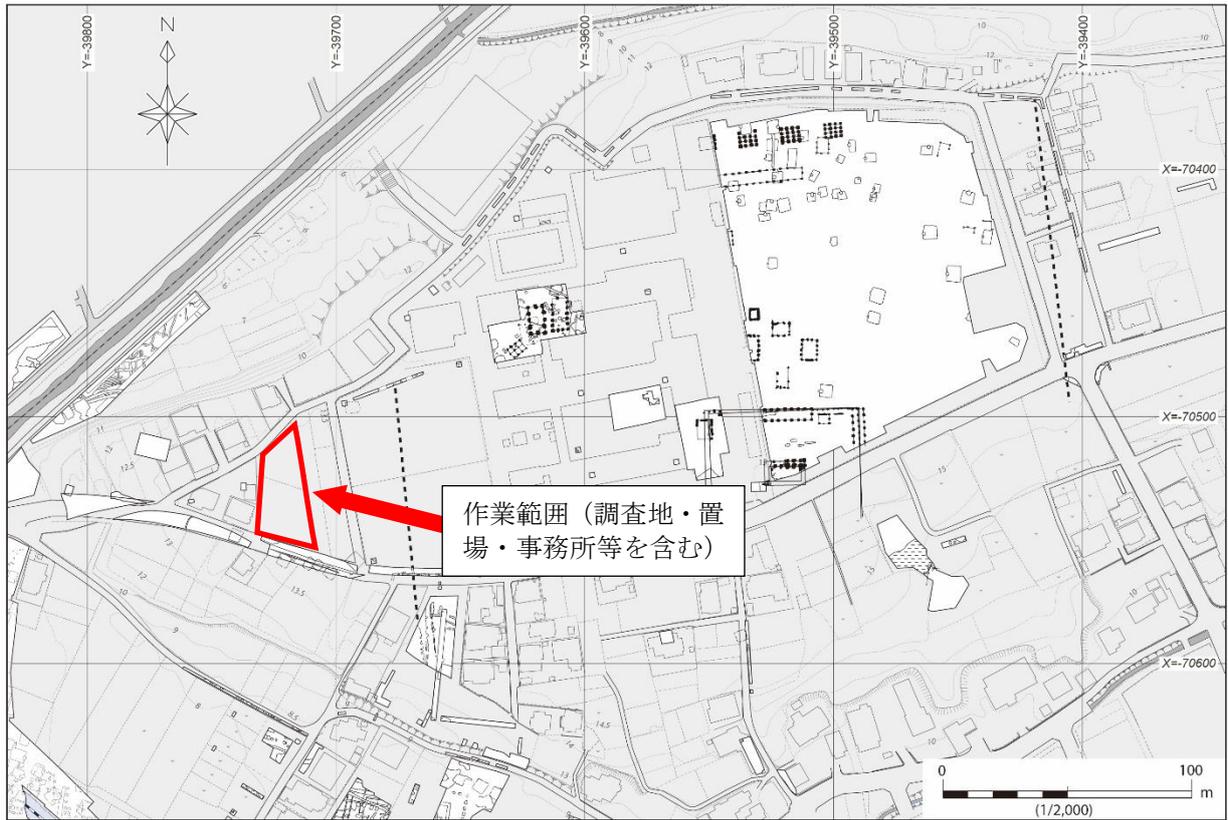
第1図 茅ヶ崎市内における国指定史跡の位置



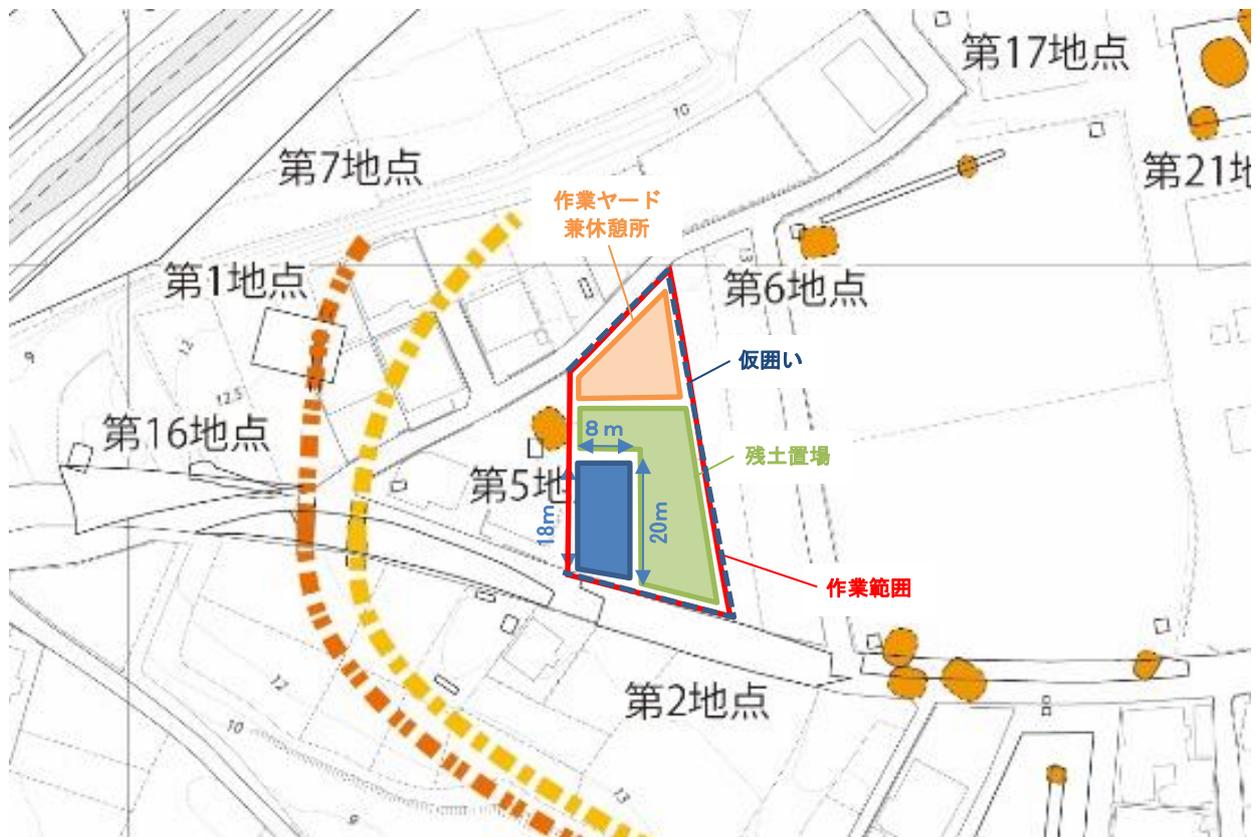
第2図 周辺の調査地点と作業範囲



第3図 史跡下寺尾西方遺跡関連遺構分布と作業範囲



第4図 史跡下寺尾官衙遺跡群関連遺構分布と作業範囲



第5図 作業範囲及び調査区配置



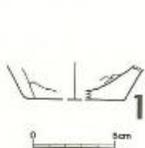
第6図 確認調査地点と西方A遺跡第1次調査地点

3区西側落ち込み (第90、91図、表21・図版10)

本遺構は3区68~72-ルグリッドに位置しているが、北側は調査区域外にあり、また南側はN T Tの攪乱をうけており、全様はつかめない。現存全長7.50m、深さ1.30mを測り、覆土は自然堆積を呈している。確認できる東側のたちあがりは緩やかである。

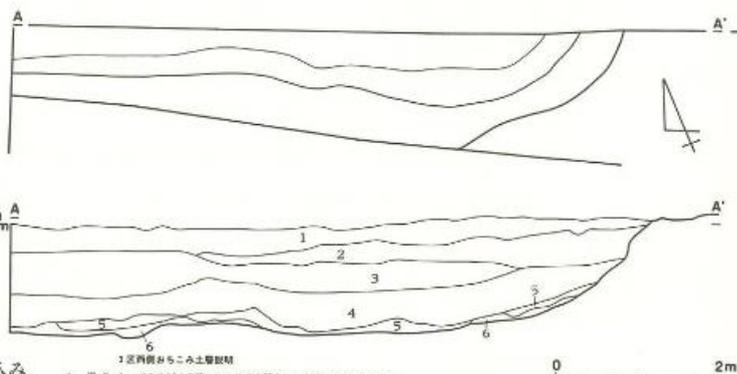
掘りこみの状況と堆積土から遺構と考えられるが、プラン、規模等が判然とせず、性格は不明である。

出土遺物は、土師器甕10片のみであり、実測可能なものは1点のみである。



第91図 3区西側落ち込み

遺構外出土遺物 (第92、93図、表22、23)



- 3区西側落ち込み土層説明
- 1. 黒色土 パリス灰少量、スコリア少量含む。土粒やや粗。粘性弱。
  - 2. 暗褐色土 赤褐色スコリア多量、パリス少量含む。土粒やや粗。粘性しまり有。
  - 3. 暗褐色土 赤褐色スコリア多量、パリス少量含む。土粒粗。しまり有。
  - 4. 黒色土 パリス(大)少量、褐色スコリア中量含む。土粒粗。粘性しまり弱。
  - 5. 暗褐色土 赤褐色スコリア(小)中量。褐色土ブロック含む。土粒粗。粘性しまり有。
  - 6. 暗褐色土 スコリア少量、ローム層厚質。炭化の微量含む。土粒粗。粘性しまり有。

第90図 3区西側落ち込み

第7図 3区西側落ち込み